

## 低入札価格調査結果調書

- 1 調査対象工事件名：空自秋田外(30)隊庁舎改修等建築工事
- 2 入札日：平成30年6月6日
- 3 調査対象業者名：山科建設 株式会社
- 4 調査概要

調査事項	調査結果
当該価格での入札理由	当該価格により入札した理由は、山科建設(株)が設定した受注目標額を目指す対象工事の1つであったこと、また、社内に抱える待機技術者を考慮のうえ建築工事における当局の実績を得る機会と捉え確実な受注ができるように経費を圧縮して当価格により入札されたもの。
入札価格の適切性	<p>入札価格については、直接工事費の未計上は見受けられず、山科建設(株)は、公共工事における同種工事の施工実績が多数あり、協力会社とは長期にわたる施工協力体制を構築し、その取引実績から見積額の低減につながり価格を低く抑えられたものである。経費のうち山科建設(株)との大きな価格差が生じているものは一般管理費等であり、これは、新たな工事を確実に受注したい希望が強く、会社の経費は計上しつつ利益を圧縮することで削減されたものである。</p> <p>共通仮設費は、協力会社と長い取引実績によること、現場管理費は、当該工事に必要な費用を積上げて算定していることから当該価格は会社として工事を実施するために必要な価格を計上したものとなっている。</p> <p>よって、入札された工事費内訳明細書において、設計図書の内容に適合した施工可能な工事であると判断した。</p>
手持ち工事の状況と技術者の適正配置	問題なし
手持ち資材、手持ち機械の状況	該当なし
労務者の供給見通し	協力会社（取引年数から問題なし）
過去に施工した公共工事の施工状況	問題なし
経営状況及び信用状況	経営状況、問題なし 信用状況、問題なし

- 5 当該工事についての適正履行の有無 有
- 6 落札の決定 平成30年7月11日 山科建設 株式会社